

唐津市立伊岐佐小学校 学校便り 第55号 2020年3月2日発行 文責 橋口 繁美

キラ・ニコ・ドン・パッ

HP
工事中！

キラキラ輝く子ども。ニコニコ笑顔の子ども。ドンドン挑戦する子ども。パッと行動する子ども。

さすが！本校保護者の落ち着きぶり「臨時休業について」

今回の臨時休業については、急なことでビックリされたことと思います。確かな情報のみを配信すべきだと考え、学校からの情報がテレビや新聞よりも遅れてしまったことも混乱の一要因ではないかと申し訳なく思っています。今回の政府からの発表(要請)があまりにも急で、文科省から確かな文書が発送されない中、県教委や市教委は対応を迫られました。当然のことではありますが、教委からの情報は小出しとなり、各学校では子ども達の安全や学習について心配や疑問が尽きず、大混乱です。

そういう中、本校の保護者からは「卒業式・修了式の実施の可否」「休業期間」「給食費」等などお尋ねになりたいことはたくさんおありだったと思いますが、個別の問い合わせは1件もありませんでした。本校からのはなまるメールを待ってくださったのだと思います。市教委や相知小中との連絡、校内の打ち合わせ等を優先することができ、とても助かりました。心から感謝申し上げます。

今後も確かな内容のみを、こまめに配信します。ご確認をよろしくお願いします。

お花を育てる名人「梅崎さん」

本校の敷地内外の環境整備を担ってくれているのが、梅崎麻衣子さんです。お花を育てるのが、とても上手で、時には他校から指導の要請があるほどです。何がすごいって、こぼれ種から苗分けをして花を咲かせるのです。買ってきた花苗を花壇に植え替えるだけなら、私も何とかできますが、彼女は全くお金をかけずに、立派な花を咲かせます。現在、体育館入り口にあるサクラソウは彼女がそうやって育てたお花です。私には、そのサクラソウが誠実で笑顔の絶えない彼女に重なって見えます。



次々に届いた地域の皆様からの温かいプレゼントとメッセージ



28日に、唐津市竹木場にある岸本組さんから間伐材を使って作った立派なプランターと園芸用土、チューリップの鉢植えをいただきました。岸本組さんが社会貢献事業として行っておられるということですが、「どうして本校に？」とお尋ねしたところ、「山崎で工事をしていて通学する伊岐佐小の子ども達をたびたび見かけたので」というお答えでした。子ども達の普段の何気ない登下校の様子をととても好感をもって見てくださっていました。感謝です。



28日に、井手農園の鮎川さんが来校され、全校児童にイチゴ（赤・白）をくださいました。「伊岐佐小学校の子どもは勉強も徒歩通学も挨拶もがんばっているから、ごほうびに！」ということです。伊岐佐小学校のことを見てくださる方がいらっちゃって、このようにお声をいただくことがとても嬉しくて、私は感動しました。鮎川さんは「相知・伊岐佐を誇りに思う子どもたちに育ってほしい」と願いを話されました。私は、その思いを放送で子ども達に伝えました。